

## 南足柄市立足柄台中学校

研究テーマ：「一人ひとりの『学び』を育む指導の工夫」  
～学びを人生や社会に生かそうとする力の育成～

### 1、実践の目的

本校では、平成28年度から3年間、神奈川県インクルーシブ教育推進校としての研究を進めてきた。その中で、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ取り組んできた「視覚化」「焦点化」「共有化」を図る授業の実践を継続し、令和元年度から本テーマを設定している。

昨年度から実施されている学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「学びに向かう力」を求めて、職員同士がアイデアを出し合い、共に学ぶ環境づくりを実践している。

### 2、実践の内容

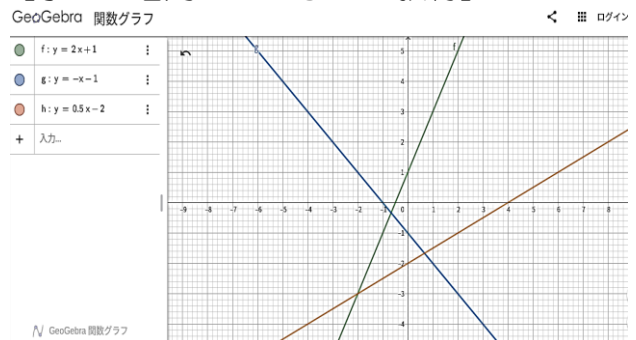
#### (1) わかりやすい授業づくり

多様な学習履歴をもつ生徒に対し、校内での学習を保障し、実力を発揮させ、学校生活に適應させるために各教科の授業において、ユニバーサルデザインの視点を授業づくりに取り入れている。視覚化（板書の工夫、図、写真の提示、学習過程カードなど）、焦点化（単元や本時のねらいとゴールの明確化）、共有化（学習成果の評価、適切な話し合い活動等）を組み合わせ授業の実践を行っている。

また、一昨年度末から導入された学習者用端末を始めとするICT機器を効果的に活用した授業づくりを行っている。特に、ユニバーサルデザインの視点である視覚化の部分で有効活用できる場面を増やしている。

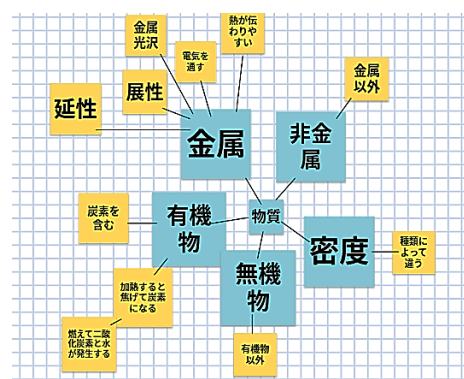
数学や社会などの教科では、図や写真の提示が瞬時に全体に行えること、理科や音楽などの教科では、実験の動画や曲をくり返し再生できることを生かした授業を実践している。

#### 【学習で活用しているICT教材】



数学：グラフツール（GeoGebra）

※ 数学学習・数学教育用の無料のデジタルツール（授業教材、グラフ作成、幾何学、共同作業用のホワイトボード等）

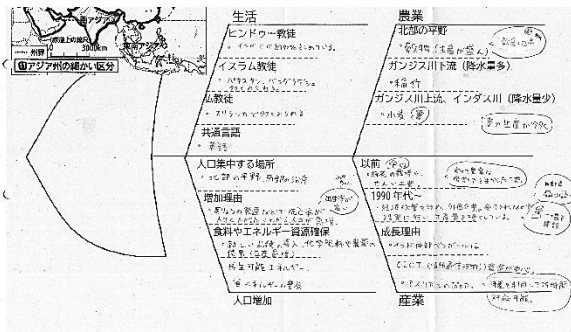


理科：Jamboardでの単元の振り返り

※ 視覚的に学習を整理するために活用

(2) 自分の考えをまとめ、発表する活動の推進

シンキングツールや学習者用端末を活用し、自らの考えを整理して、相手に伝える言葉をまとめて、わかりやすく伝える授業を積極的に取り入れている。個で考える時間を確保し、ペア・グループ・全体など学習課題に応じた共有の形態の工夫を行っている。また、その他にも書画カメラやオクリンクを活用して、生徒の意見を共有する場面をつくっている。国語や社会などの教科では、シンキングツールを活用した授業づくり、英語科では、聞き手にとって効果的な発表を意識したスピーチ活動を行っている。様々な教科で繰り返し取り組む中で、情報を整理し、まとめる力や相手に伝えるスキルを身につけてきていると感じる。



社会：シンキングツールの活用



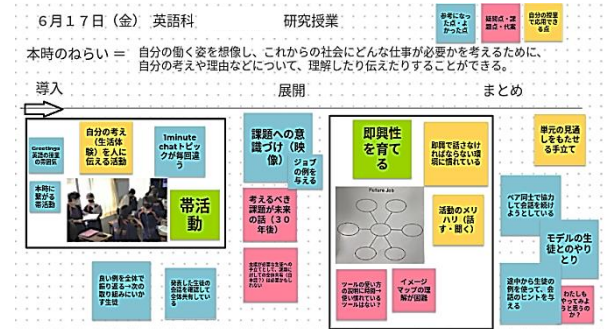
英語：スピーチ活動

(3) 研究授業・研究協議の工夫

本校では、年間1人1回の研究授業を行っており、授業当日に、全参観者により放課

後研究協議を行っている。授業づくりには、ICT 機器の活用、もしくは、シンキングツールなどを用いた言語活動の充実を取り入れている。研究協議には、Jamboard を利用し、協議の見える化と意見の共有を図っている。

今年度は職員を6グループにわけて、教科を超えてお互いに参観し、さまざまな視点や他教科とのつながりを意識したなかで、考えや意見を交わして、互いの授業の向上を図っている。



3、実践の成果

各教科でわかりやすい授業づくりと自分の考えをまとめ、発表する活動の推進を行ってきたことで、生徒がそれぞれの課題に対してより主体的に、工夫しながら取り組む姿が見られている。また、ICT 機器の有効活用場面も順調に増やすことができている。

4、今後の展開

今後は、共感的思考や批判的思考をもって聞くなどの、話の聞き方に注目させて、言語活動の充実を図っていく。また、資料の整理や自分の考えのまとめにおいて、学習者用端末の活用場面を増やしていく。

そして、生徒の「学びに向かう力」の育成を目指して、研究テーマの実現に迫る授業づくりの工夫、改善に向けて、さらに教材研究を充実させ、授業の向上に努めたい。